

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践について リビングに掲示はしているが、意識が低かったり振り返りの機会が必要。 | 理念を各職員に意識してもらうようにして、日々の介護、御利用者対応をしていく。 | 職員会議のなかで、話し合いや振り返る機会をつくる。 | 12ヶ月 |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあいについて コロナ禍もあり、例年に比べて地域行事に参加出来ていないところもあったが、日常的にも交流出来るようにする。 | 御利用者も地域の住民の一人として地域とつながっているという関係を職員がつくっていく。 災害時における地域の協力を得られるように働きかける。 | 地域の行事に積極的に参加していく。 避難訓練時等、地域の方々に協力して頂けるように働きかける。 | 12ヶ月 |
| 3 | 26 | チームでつくる介護計画とモニタリングについて 会議に出席する人数が限られていたり、発信する機会が少ない。それぞれの職員の意見を聞く機会が少ない。 | 職員間の円滑なコミュニケーションを図るようにして、御利用者の生活向上につなげていく。 御利用者の立場にたって考える。 | 毎月の職員会議等は必ず開催する。 管理者と職員の個別の面談の機会をつくる。 研修に参加したり、施設内での勉強会を開く。 | 12ヶ月 |
| 4 | 40 | 食事を楽しむことができる支援について 御利用者の重度化や職員の都合で食事を提供しているだけになっているところがある。 | 日常生活のなかで、食事は楽しみの一つでもあるため、現在の御利用者の状態に応じて、食事の準備や食べる事を楽しんでもらうようにする。 | 御利用者の重度化やコロナ禍で難しいところもあるが、手洗い、消毒等衛生面を気をつけたいえで簡単な盛り付け等を行ってもらおう。 おやつ作り等御利用者や職員と一緒に楽しめて作れる機会をつくる。 | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。